

## カナダの金融市場動向 Weekly Report

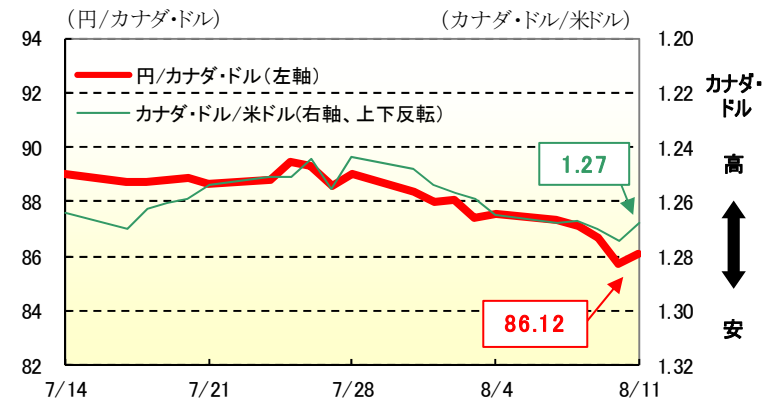
【2017年8月5日～2017年8月11日の推移】

### 【1】先週の回顧

先週のカナダ・ドル円は下落し、カナダ5年国債利回りは低下しました。

先週は、米国と北朝鮮の間での緊張感が高まり地政学リスクが意識されたことから、カナダの金利は低下し、カナダ・ドル円は下落しました。また、米国で発表されたCPI(消費者物価指数)が市場の予想以下の伸びとなったことも、カナダの金利の低下圧力となりました。

【カナダ・ドル 為替推移】 (2017年7月14日～2017年8月11日)



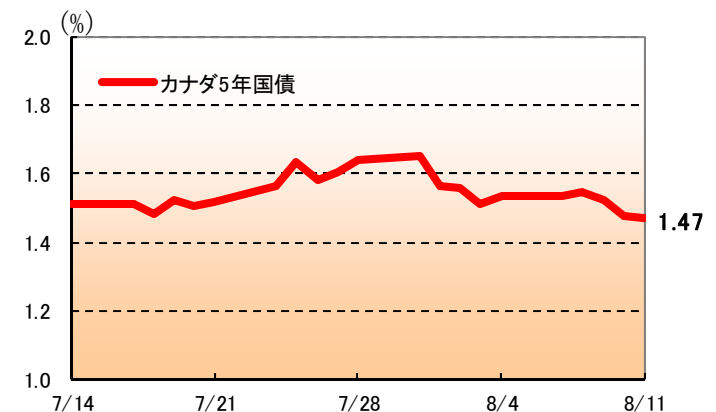
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。  
(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 【2】今週の見通し

カナダは、経済が堅調に推移していることで追加の利上げが期待されることや、欧州や米国など世界的に金融政策が緩和から正常化へ向かう流れとなっていることなどから、金利は上昇圧力が優勢になるとみられています。

今週は、カナダでCPIが発表されます。市場予想を上回る結果となれば、カナダの金利やカナダ・ドル円の上昇圧力になるとみられています。一方で、北朝鮮をめぐる地政学リスクがさらに意識される場合には、金利低下やカナダ・ドル円の下落が進むと考えています。

【カナダ 金利推移】 (2017年7月14日～2017年8月11日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>